

1 WEEK MASTER
7th DAY !!!

# Sunday



## 今日マスターすること

TODAY'S GOAL !!!

## 描画の新機能と出力

STEP 1 ••( うわさの機能を使ってみよう

STEP 2 ••( 出力について

Sunday 1 WEEK MASTER 7th DAY !!!

# STEP 1 うわさの機能を使ってみよう

昨日までのちらし作成は、うまくいきましたか？

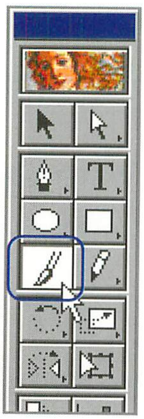
今日は最後の日曜日です。ちょっとおまけ的に新しい描画機能を使って遊んでみましょう。

## ブラシ

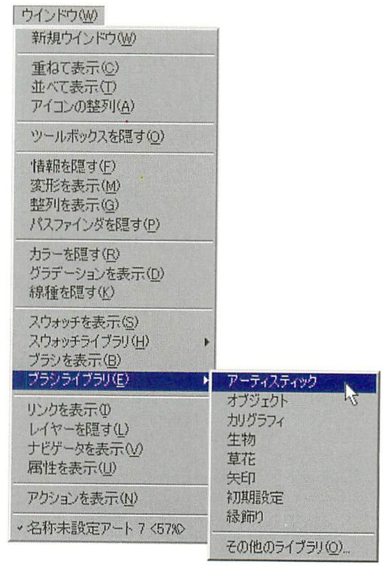
ブラシの種類が増えて、表現力が大幅に増したブラシツール。今回は、Illustratorが最も苦手としていた手描き風のタッチを表現してみようと思います。各自でアレンジしながら練習してください。例題として「どじょう」を筆のようなタッチで描いてみましょう。「ファイル」メニューの「新規」で新しいファイルを開いておいてくださいね。



▲完成図



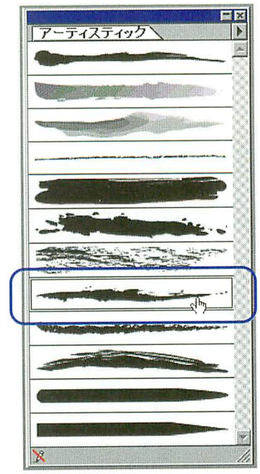
1 ツールボックスからブラシツールを選択します。



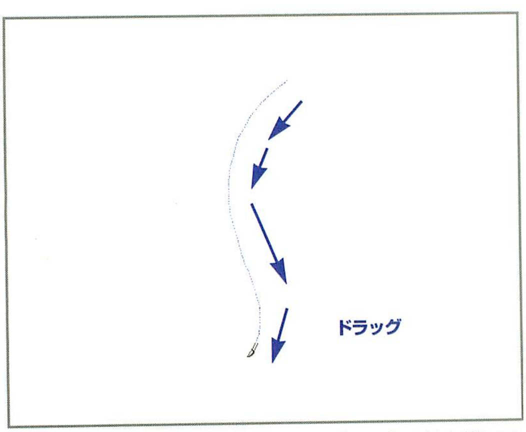

2 「ウインドウ」メニューの「ブラシライブラリ」から「アーティスティック」を選びます。



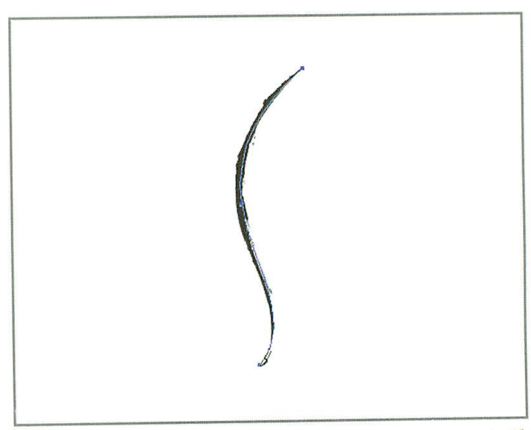

3 通常のブラシパレットとは別に、アーティスティックパレットが開きます。



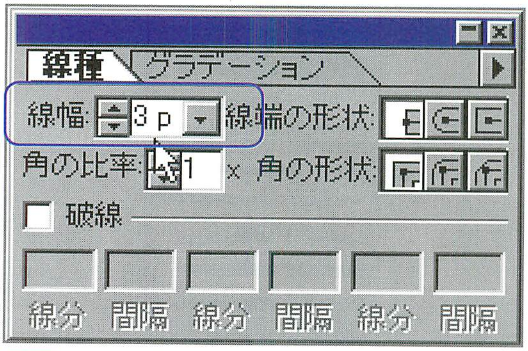

4 ここでは、上から8つ目のブラシを使います。クリックして選択してください。



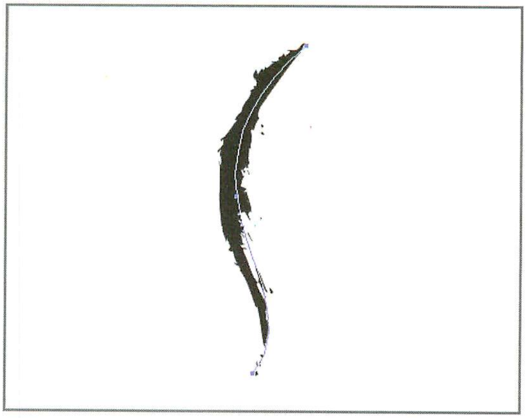

5 ブラシツールでドラッグして、どじょうの体を描いてみましょう。



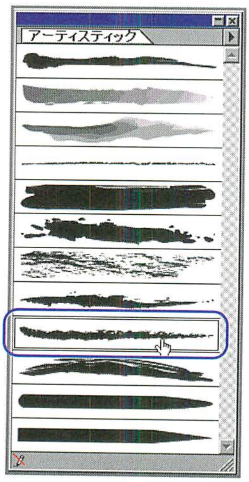
6 かすれた感じになったでしょ。Illustratorでこんな手描き風なラインを作成できるんです。



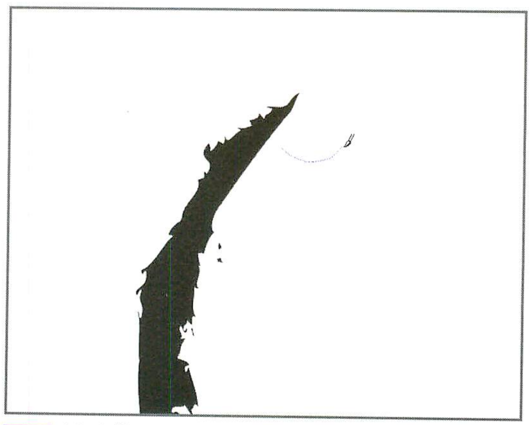

7 線幅を変更することもできます。線種パレットの「線幅」を「3pt」にします。



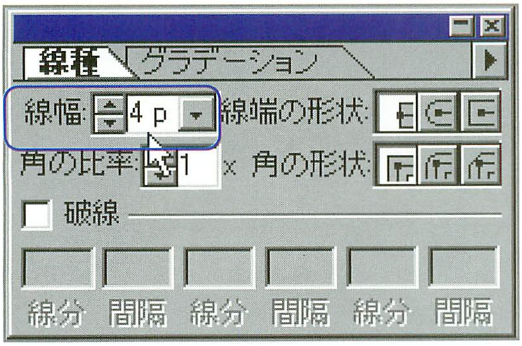
8 ここで一度、選択ツールを選び、画面の何もないところをクリックして、今描いた線の選択解除をしておきます。



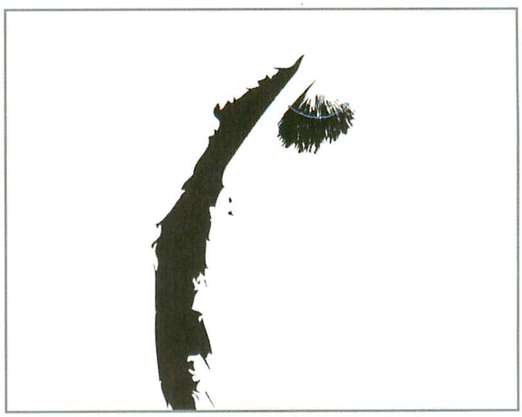

9 今度は上から9つ目のブラシを選びます。



10 ひれを描きましょう。小さくドラッグしてください。




11 線種パレットで「線幅」を「4pt」にします。



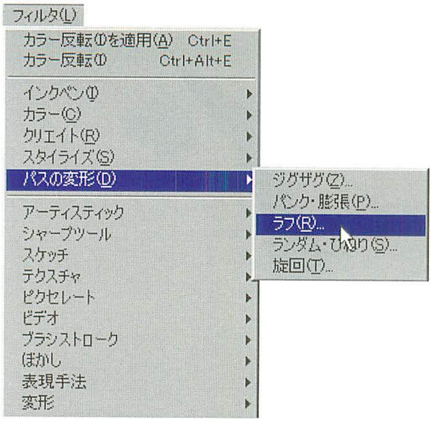
12 ほら、どじょうのひれっぽくなりましたよね（本当？）。



13 反対側も描きます。必要なら線幅を調整してください。



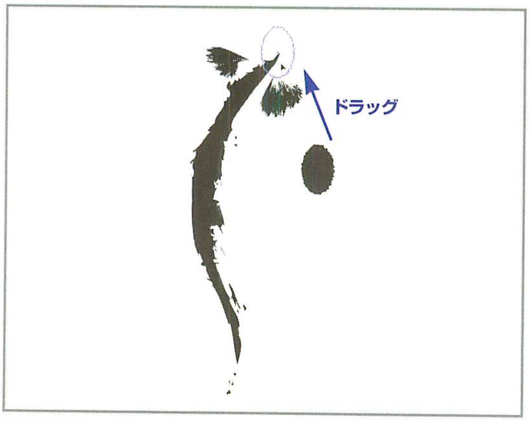

14 頭を描きます。ツールボックスの楕円形ツールを選び、縦長の楕円形を作成します。わかりやすいように、あいている場所に作ってください。「線」は「なし」、「塗り」は「黒」にしてください。




**15** 手描き風の感じにするために、「フィルタ」メニューの「パスの変形」にある「ラフ」を使います。



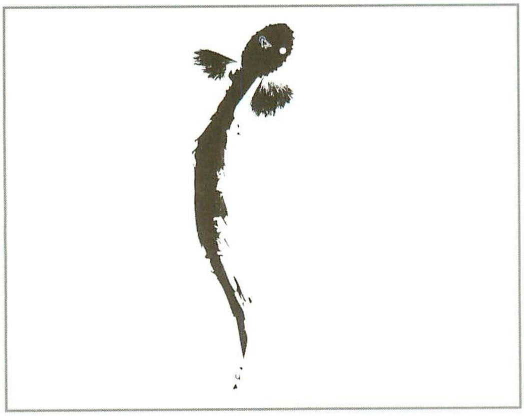

**16** ダイアログボックスが表示されます。「プレビュー」にチェックを入れると、画面で結果を表示してくれます。画面の様子を見ながら数値を調整してください。「ポイント」は「丸く」を選びます。



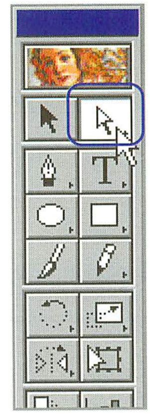

**17** これで筆で描いたようになりましたよね。頭のところへ持っていき、位置を調整します。



**18** 回転ツールや変形ツールを使って、胴体にあわせて頭を傾けましょう。また、大きさなども調整してください。



19 楕円形ツールで目を作成します。



20 パスの修正はツールボックスのダイレクト選択ツールを使ってください。



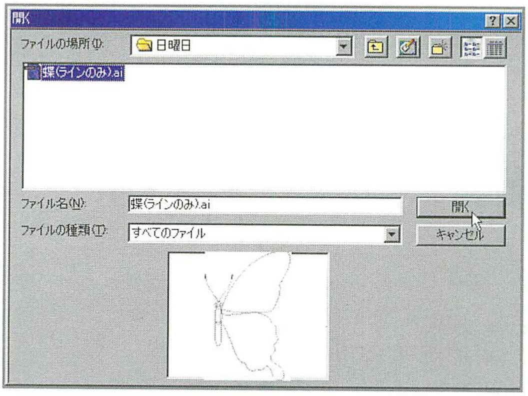
21 部分的にポイントを動かしたり、ハンドルの方向や長さを変えて、パスを調整します。



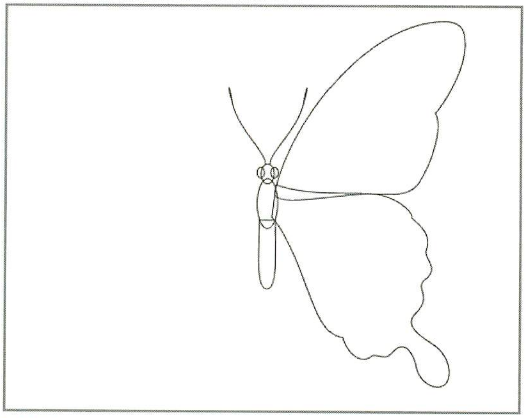
22 これで完成です。筆で描いたみたいですよね。Illustratorで描いたとはとても思えません。

## グラデーションメッシュ

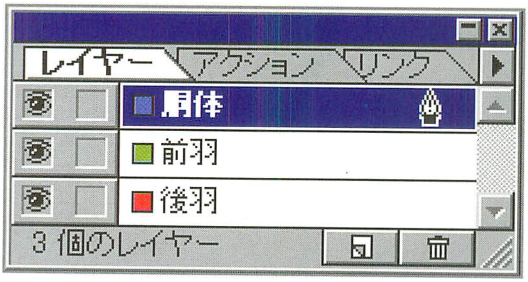
グラデーションメッシュツールは、Illustrator8.0からの新機能です。図形単位で描くIllustratorでは、これまでグラデーションの表現が困難で、ブレンドとマスク機能を駆使して複雑な操作をしなくてはいけなかったのですが、グラデーションメッシュのお陰で、簡単にきれいなグラデーションが表現できるようになりました。ぬめっとした有機的なグラデーションも自由自在に作れるのです。特にイラストを描く人には絶対おすすめの機能です。



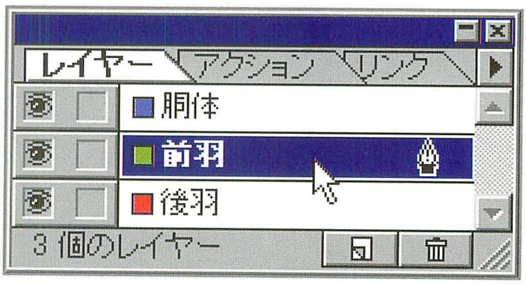

1 「ファイル」メニューの「開く」で、特別付録CD-ROM内の「日曜日」フォルダにある「蝶（ラインのみ）.ai」というファイルを開きます。



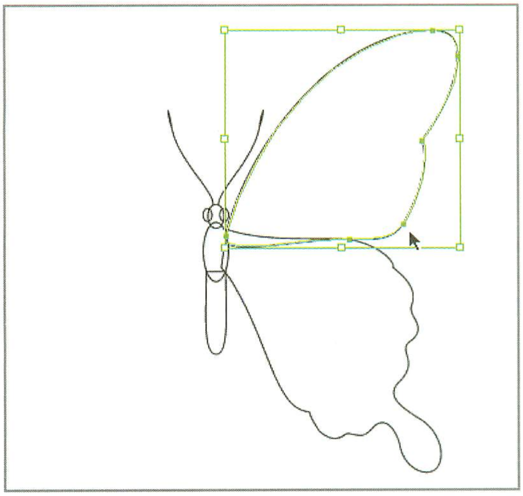
2 これから、このファイルに色をつけていきます。



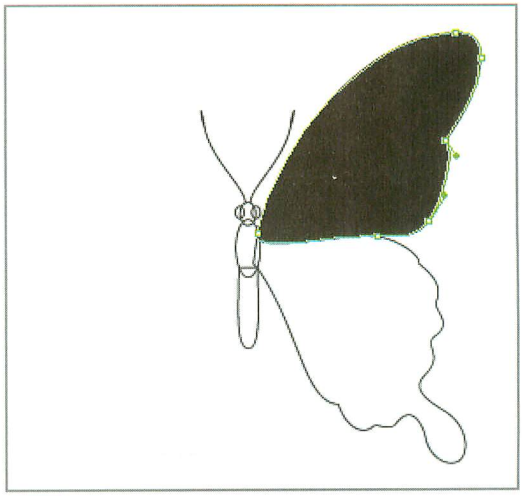

3 このファイルは「胴体」「前羽」「後羽」の3つのレイヤーに分かれています。



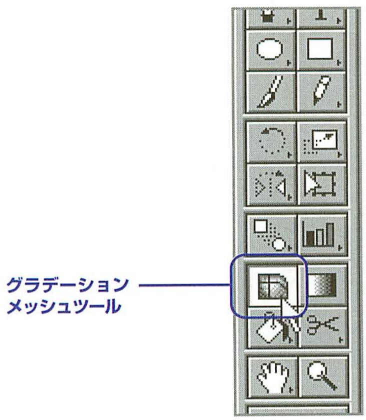

4 まず前羽の作成から始めましょう。「前羽」レイヤーを選んでください。



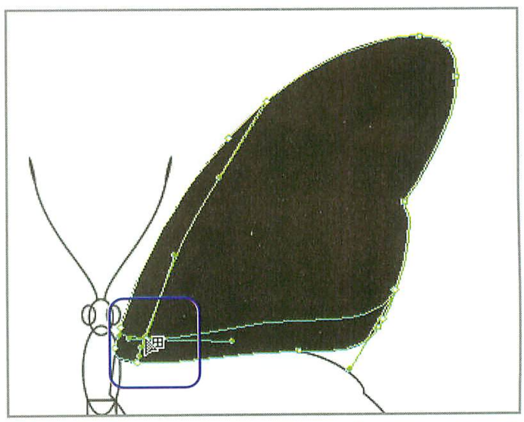
5 ツールボックスから選択ツールを選び、前羽（上側の羽）を選択してください。



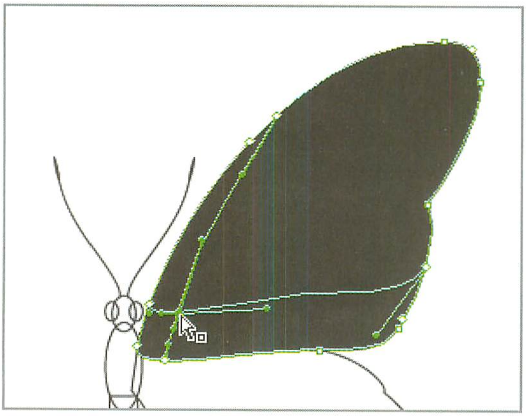
6 前羽の塗りを黒にしておきます。



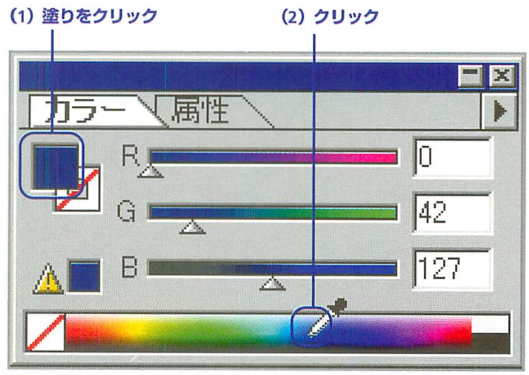

7 ツールボックスからグラデーションメッシュツールを選びます。



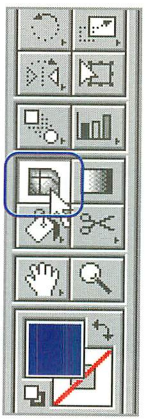
8 前羽の胴体寄りのところでクリックします。すると羽が、その位置を基準にして4つに分割されます。クリックした位置にはポイントが追加されます。



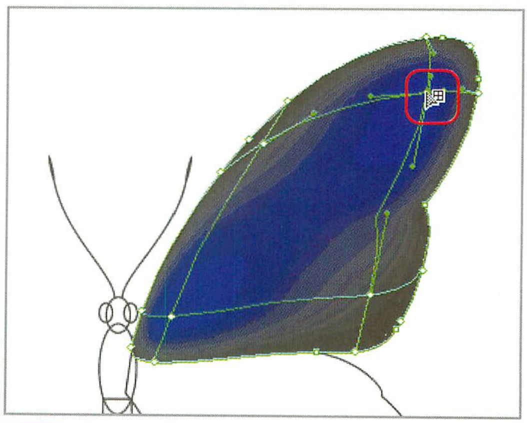
**9** グラデーションメッシュツールでクリックした直後は、追加されたポイントは選択状態にあります（ポイントに色がついた状態）。もし選択が解除されてしまったら、ツールボックスからダイレクト選択ツールを選び、先ほどクリックした位置にあるポイントを選択します。



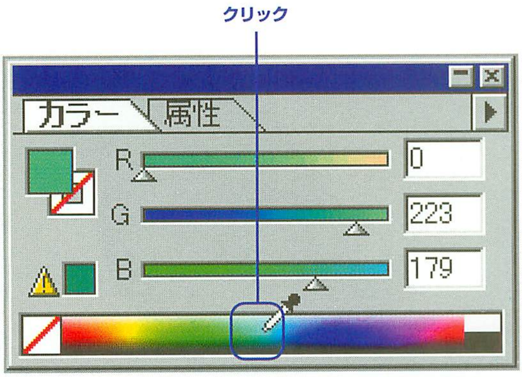

**10** そのポイントの「塗り」の色を決めます。カラーパレットのカラーバーで紫色をクリックしてください



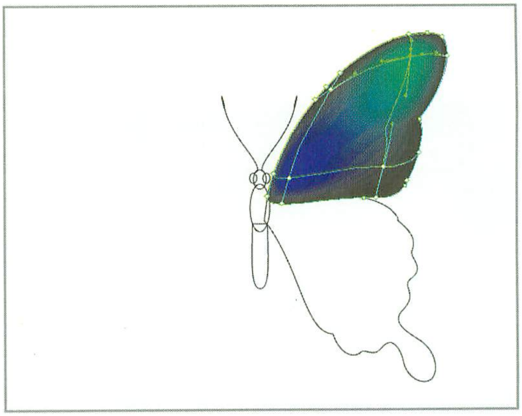
**11** もう一度、ツールボックスからグラデーションメッシュツールを選びます。



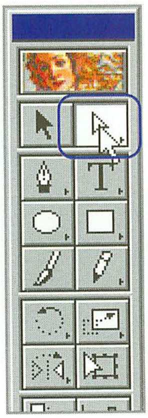
**12** 今度は前羽の右上でクリックします。そこにポイントが追加され、前羽がさらに分割されます。



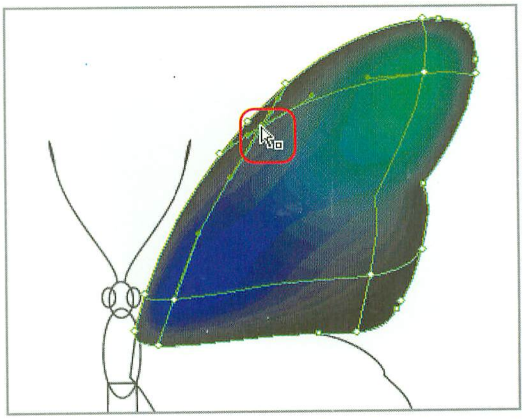

13 ポイントが選択されている状態で色を指定します。今度は、カラーパレットで薄緑色を選びます。



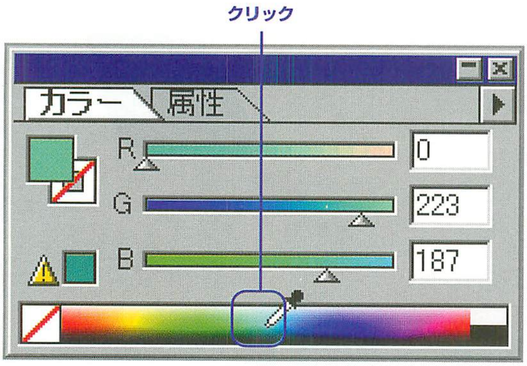
14 紫と薄緑色だけですが、グラデーションメッシュを使うと複雑な感のグラデーションになるので、これだけでもきれいですよね。



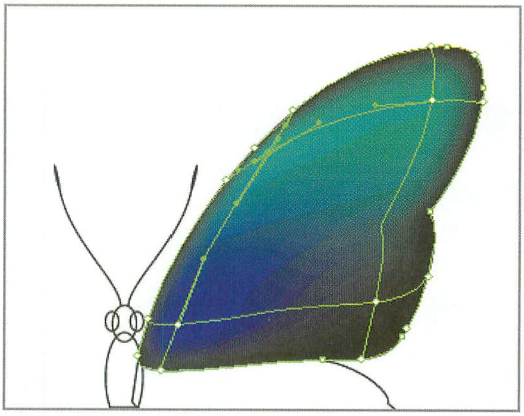
15 ツールボックスからダイレクト選択ツールを選択します。



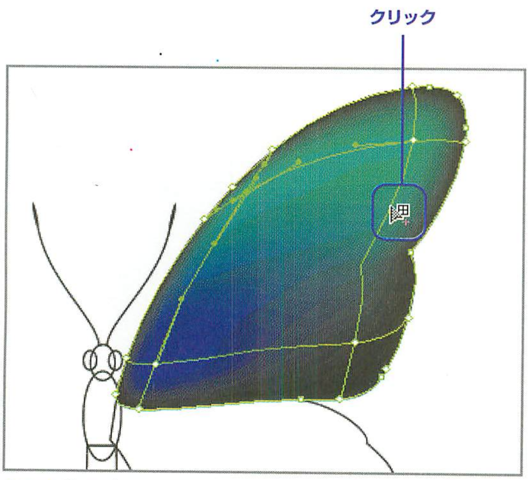
16 ダイレクト選択ツールで、今度は前羽の左上のポイントを選びます。



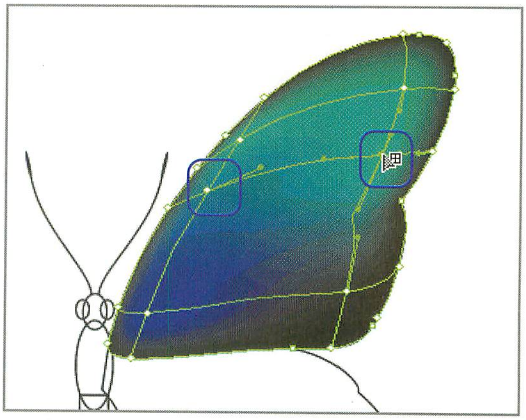

17 これは明るい水色にします。



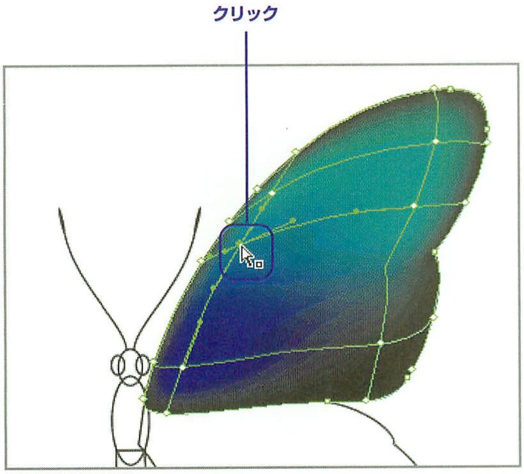
18 明るめの色が加わって、羽に光沢が出てきました。



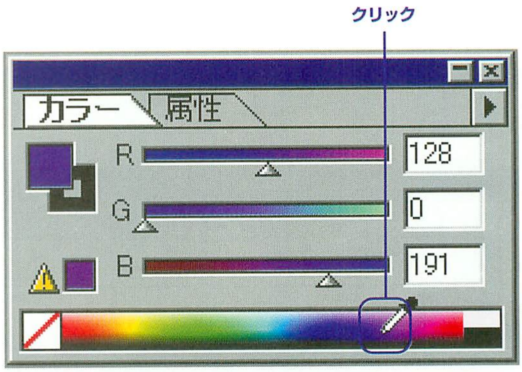

19 グラデーションメッシュツールで、右側のライン上をクリックします。



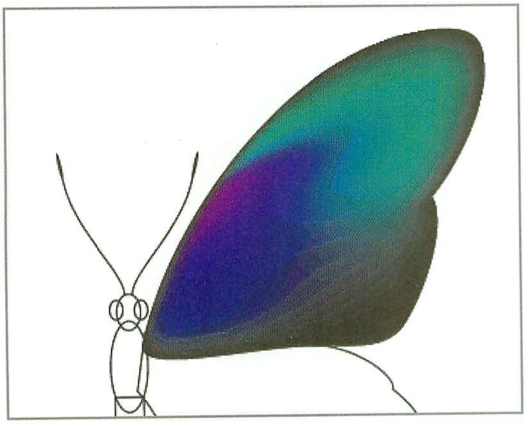
20 クリックした位置に横のラインとポイントが追加されます。




21 胴体寄りのポイントをダイレクト選択ツールで選んでください。



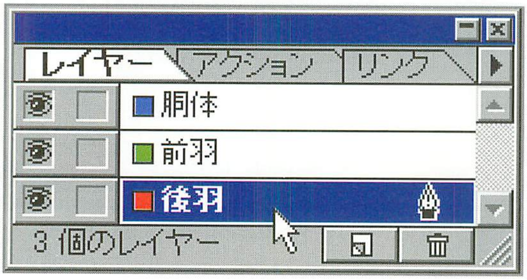

22 そこをカラーパレットで赤みの強い紫色にします。



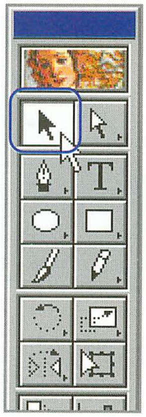
23 どんどん複雑な色合いになってきました。画面の様子を見ながら、色は各自の好みで選んでください。

**後羽を作成する**

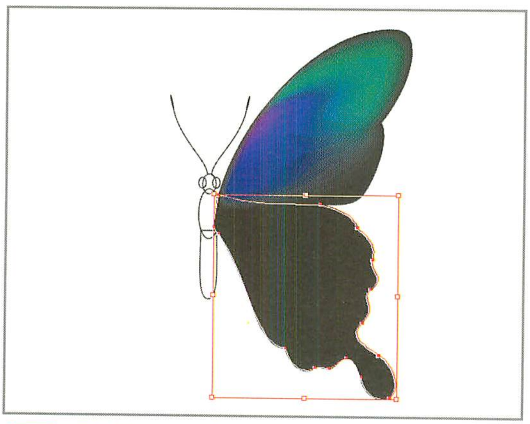
「蝶」のデータは後羽と前羽と胴体が別々のレイヤーに分かれています。今度は後羽を作成しましょう。



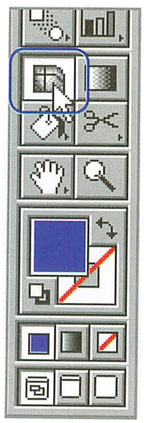

24 レイヤーパレットの「後羽」レイヤーを選択します（安全のために「前羽」レイヤーをロックしておくといいですね）。



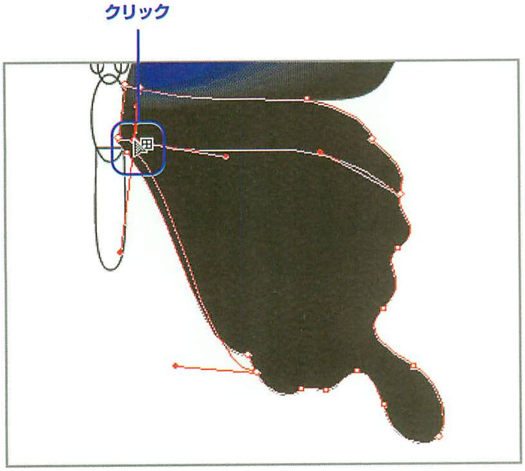
25 ツールボックスから、選択ツールを選びます。



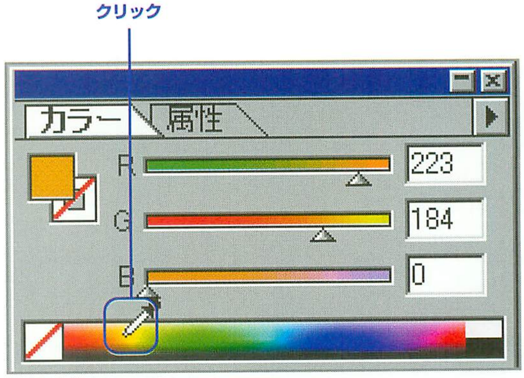
26 後羽を選択し、塗りを黒にします。



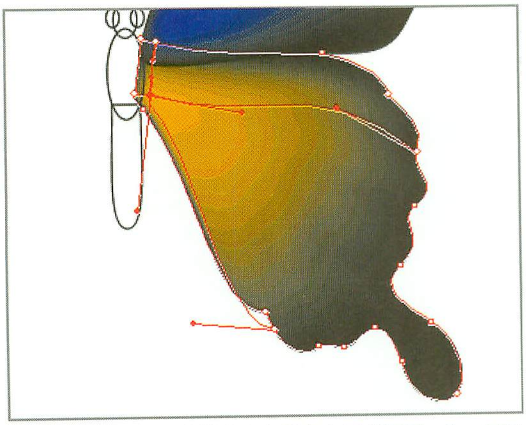
27 ツールボックスからグラデーションメッシュツールを選んでください。



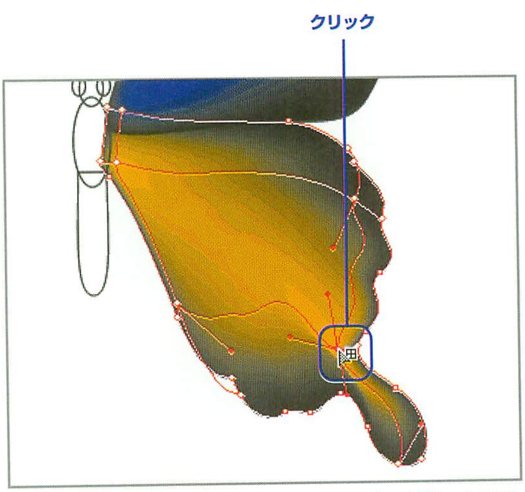

28 胴体寄りの上の方をクリックします。その部分にポイントが追加され、そこを基準に後羽が分割されます。



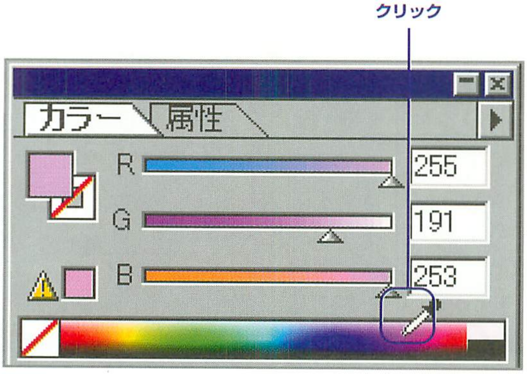

29 そのポイントが選択されている状態で、カラーパレットから黄色を選びます。



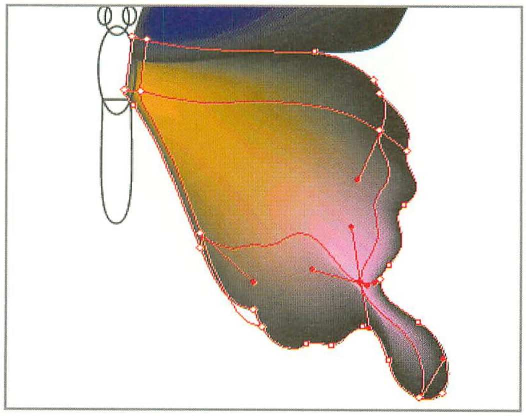
30 最初の黒と、今指定した黄色とでグラデーションになりました。



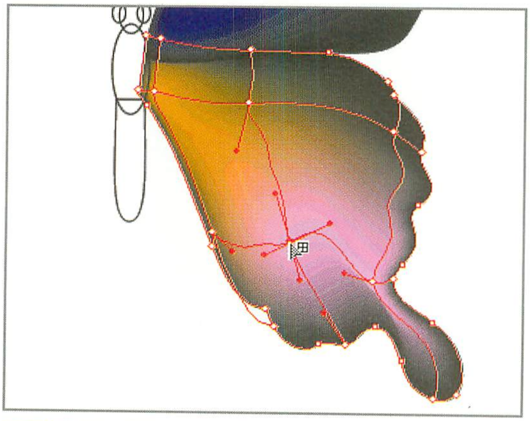

31 グラデーションメッシュツールでもう1カ所、右下の方をクリックします。



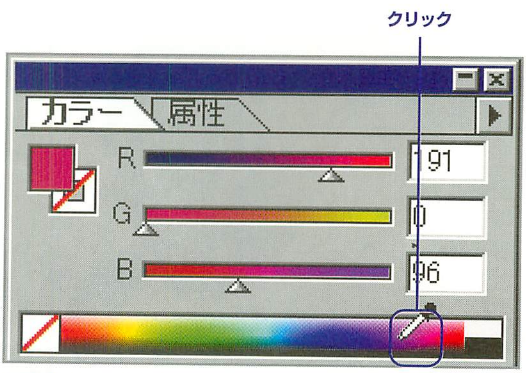

32 そのポイントが選択されている状態で、カラーパレットから淡いピンクを選びます。



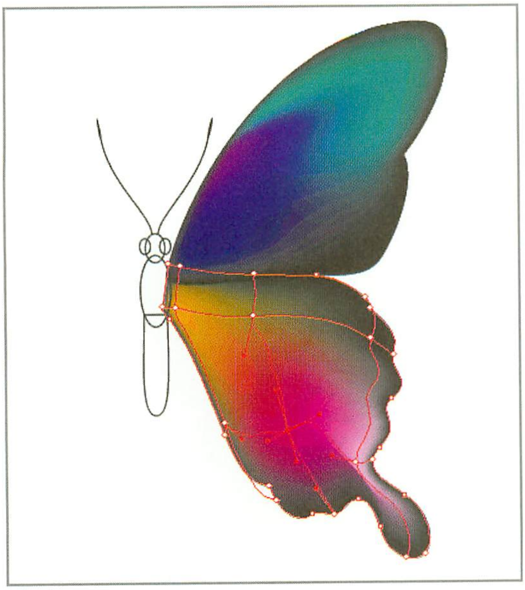
33 右下の方は、縁は黒のままで、ポイントを追加したところを中心に淡いピンクが広がります。



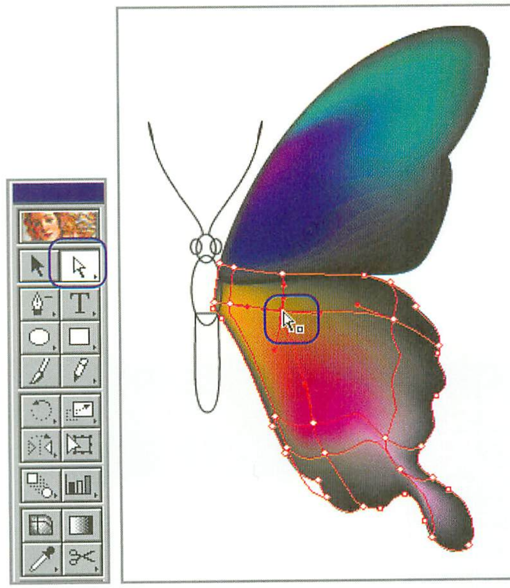
34 さらにグラデーションメッシュツールで真ん中あたりをクリックします。



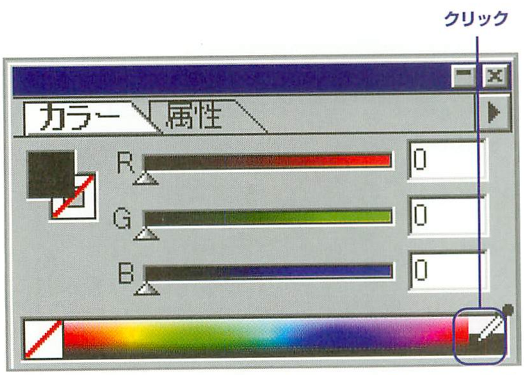

35 そのポイントが選択されいる状態で、色を濃いピンクにします。



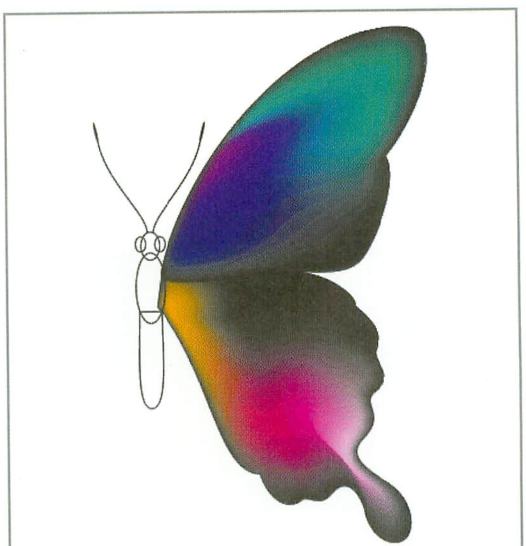
36 現在はこんな感じになっています。



37 全体を見て、必要なら色を調整しましょう。部分的に色を調整するには、ツールボックスのダイレクト選択ツールを使います。前羽のすぐ下あたりにあるポイントを選択します。



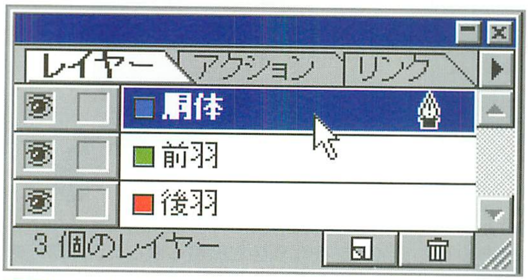

38 そこを黒にします。黒にするときはカラーパレットの右側に用意されている「黒」をクリックすると便利です。



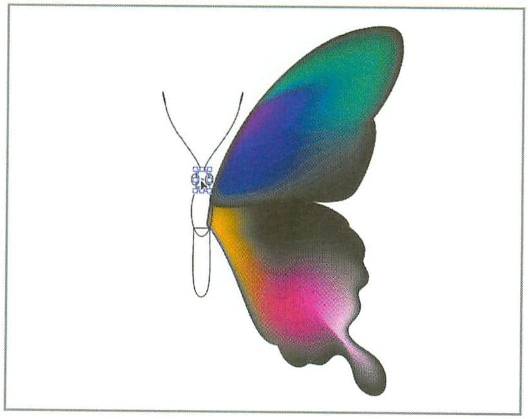
39 これで羽は完成です。グラデーションメッシュツールを使えば、こんな複雑できれいなグラデーションを作ることができるんですよ。

**胴体を描く**

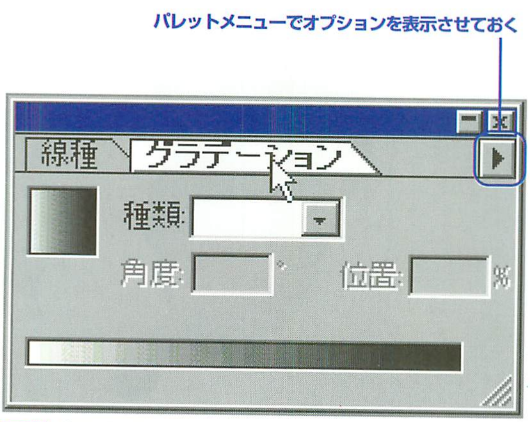
胴体は、普通のグラデーションとグラデーションメッシュツールを使って描いていきます。



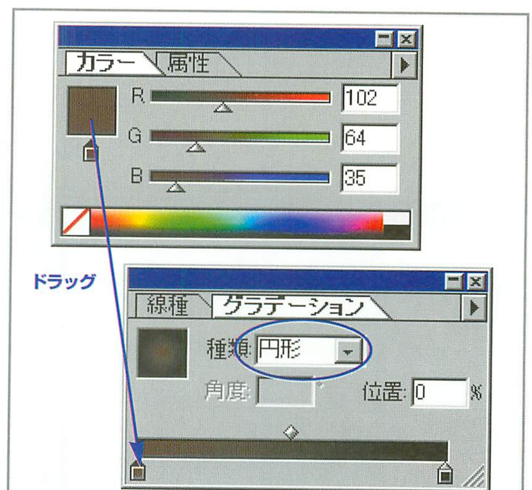

**40** では胴体を描いていきましょう。レイヤーパレットから「胴体」レイヤーを選択してください（不安なら「胴体」レイヤー以外のレイヤーにロックをかけておいてもいいですよ）。



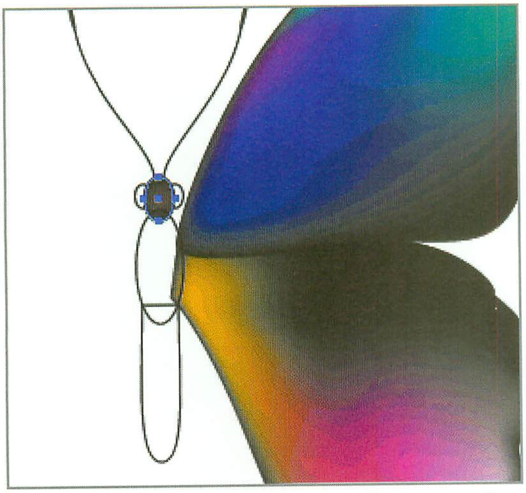
**41** 選択ツールで、まず頭の部分を選択します。



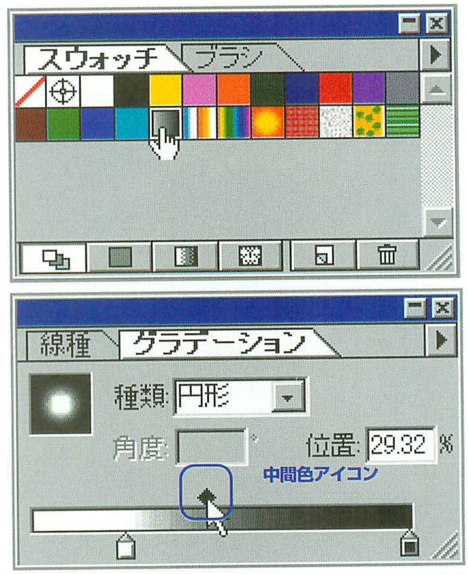

**42** グラデーションパレットを出してください。現在は黒と白のグラデーションになっているはずです。なっていなければ、スウォッチパレットの白黒グラデーションをクリックしてください。これでグラデーションパレットが白黒になります。



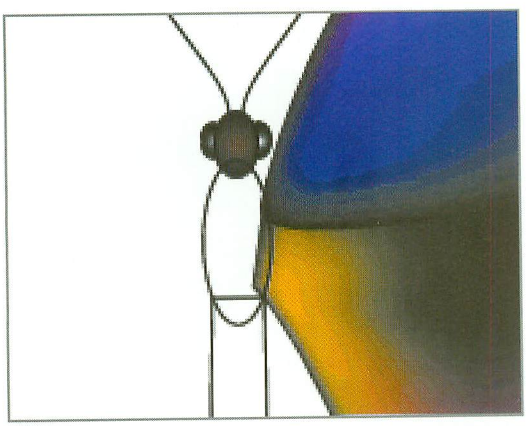

**43** カラーパレットで黄色みの強いグレーを作り、グラデーションパレットの白い側にドラッグします。「種類」は「円形」にします。



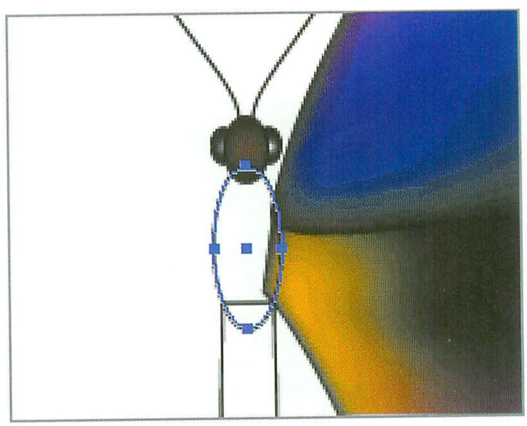
44 頭の部分が円形のグラデーションになりました。次に目の部分をグラデーションにしてみましょう。



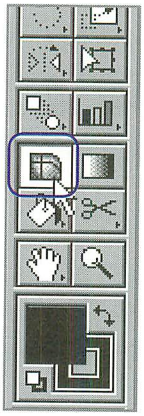

45 スウォッチパレットで白黒のグラデーションを選んでから、グラデーションパレットで「円形」に指定します。中間色アイコンをドラッグして、グラデーションの広がり方を調整します。白部分のコントラストが上がって、ハイライトを入れたような効果になります。



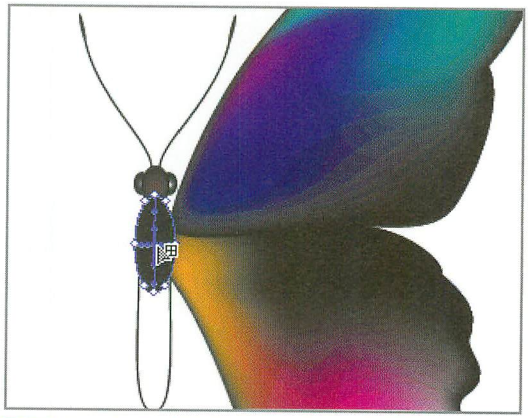
46 目の部分を左右別々にグラデーションを付けてください。グラデーションパレットで作ったグラデーションを目の上にドラッグ＆ドロップし、適用することもできます。



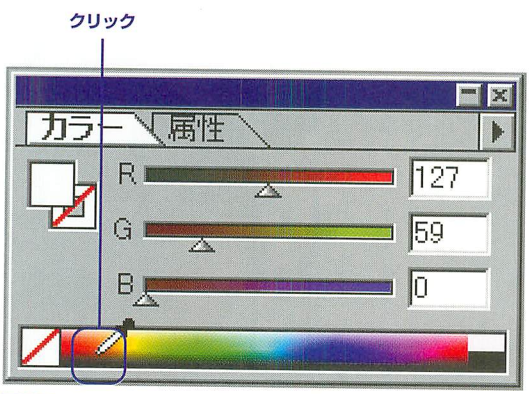
47 次に、胸部分を選択します。



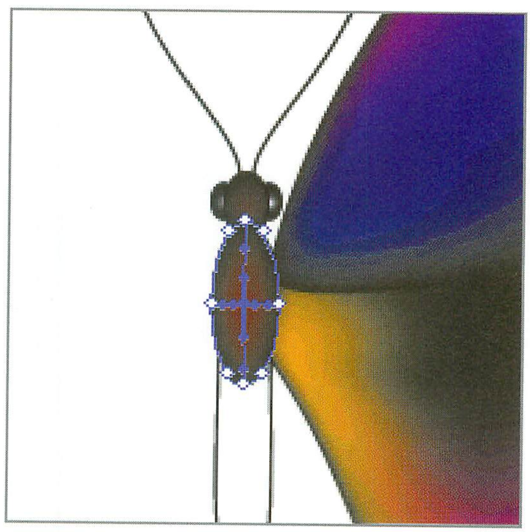
48 胸部分の塗りは黒にしておいてください。ツールボックスのグラデーションメッシュツールを選択します。



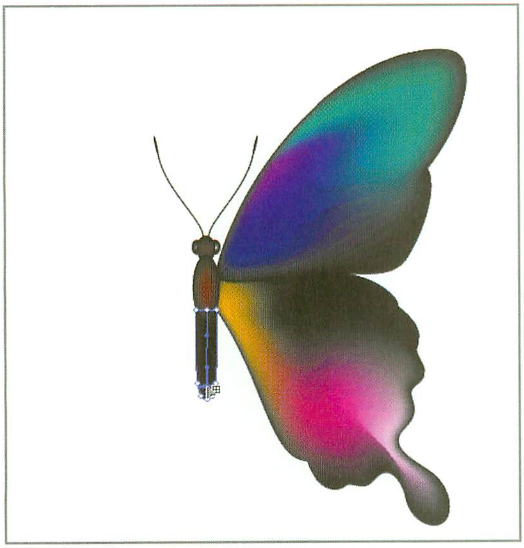
49 胸の中心部分をクリックします。その部分にポイントが追加され、そこを基準に分割されます。



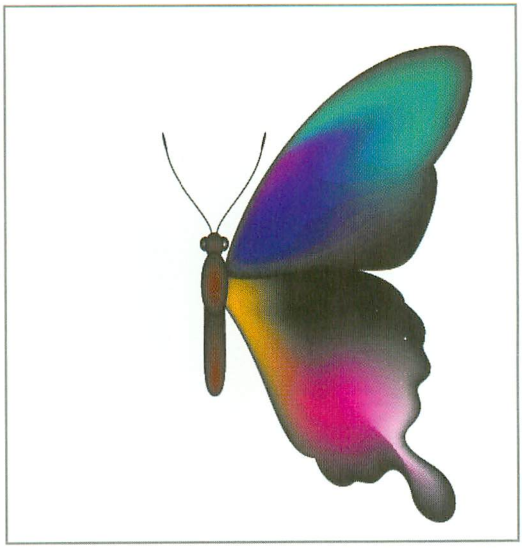

50 そのポイントが選択されている状態で、カラーパレットで明るい茶色を選びます。



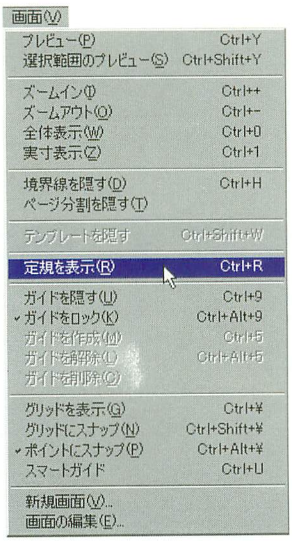
51 胸部分にも陰影ができました。



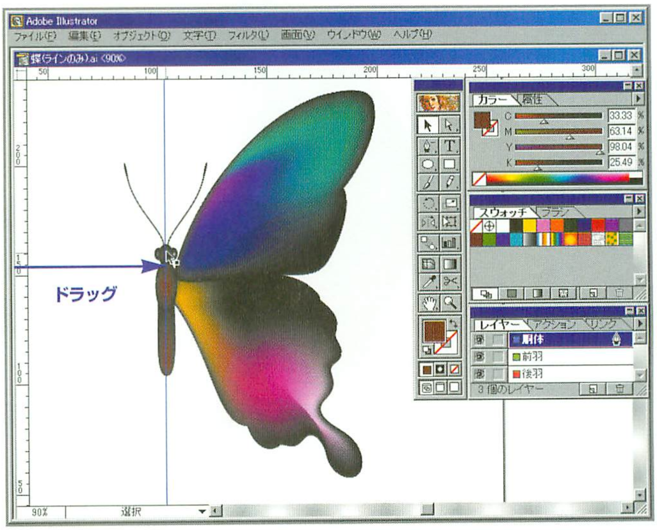
**52** 同様の手順で、腹の部分もグラデーションにします。最初に黒く塗っておくのがポイントです。



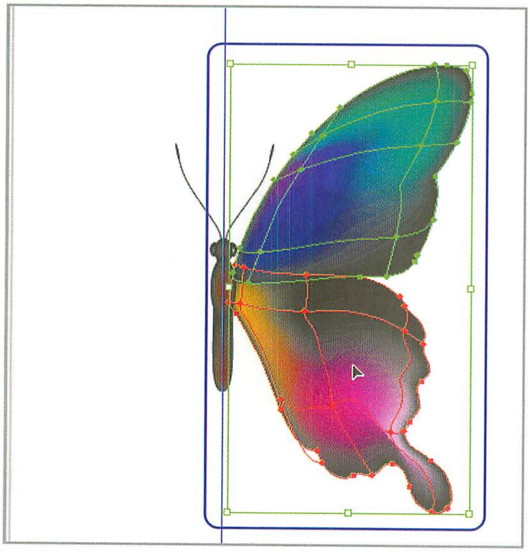
**53** これで完成です。といっても、これでは片側の羽しかありませんね。



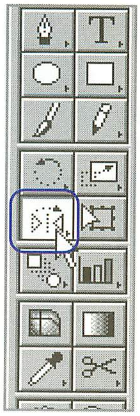

**54** これから、中心を基準に反対側の羽を作ります。中心線を確認するために、ガイドラインを作成しましょう。定規が表示されていなければ、「画面」メニューの「定規を表示」を選んでください。




**55** ウインドウ左側の定規からガイドラインをドラッグし、蝶の胴体の中心を通るガイドラインを作ってください。

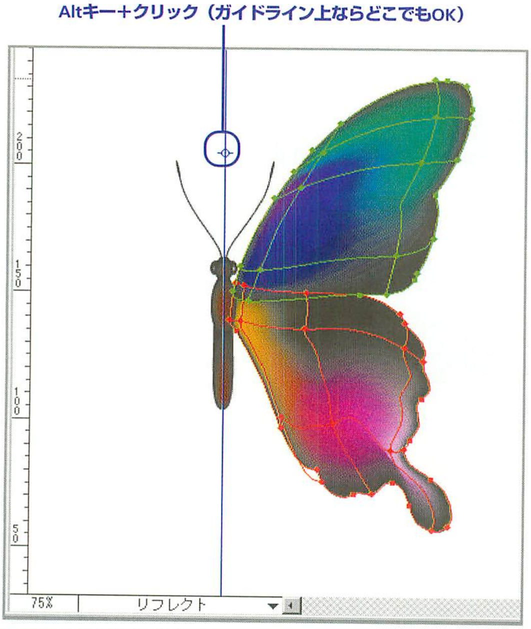


56 選択ツールで前羽と後羽の両方を選択します。

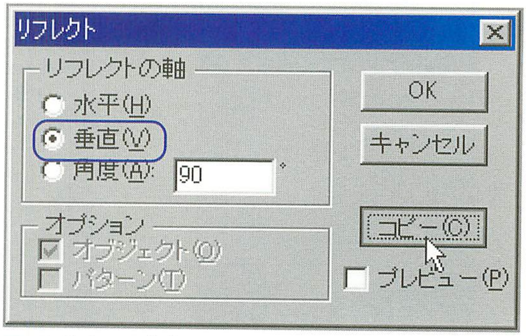



57 ツールボックスからリフレクトツールを選びます。リフレクトツールは左右反転させるためのツールです。

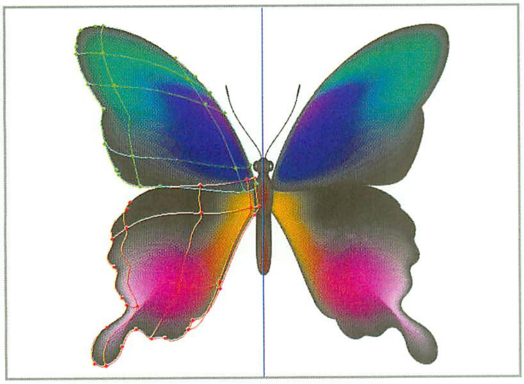
Altキー+クリック（ガイドライン上ならどこでもOK）



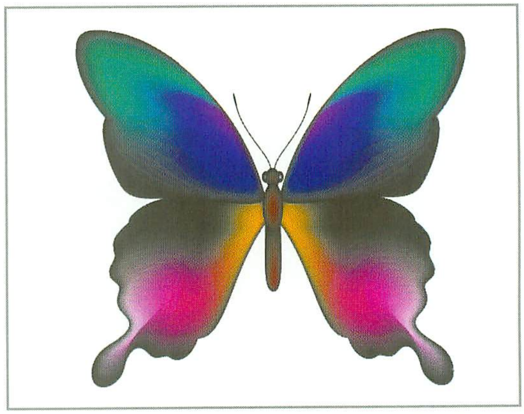

58 反転の軸を指定するために、ガイドライン上（どこでも結構）でAltキーを押しながらクリックします。



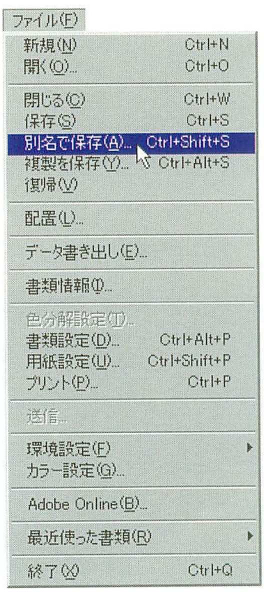

59 ダイアログボックスが出てきますので、「垂直」をチェックして、「コピー」ボタンを押してください。



60 羽が反転して、反対側ができましたよね。



61 これで本当に完成です。ガイドラインを消して（「画面」メニューの「ガイドを削除」を選択）、仕上がりを確認してみましょう。完成ファイルが特別付録CD-ROMの日曜日フォルダにありますので、参考にしてください。




62 「ファイル」メニューの「別名で保存」で保存しておきましょう。「保存」のほうだと、最初の状態の練習ファイルが置き換わってしまいますから、必ず「別名で保存」を選んでください。




63 ここでは「蝶のグラデーションメッシュ」という名前にしました。適当な名前でかまいませんから、練習用フォルダに保存してください。

Sunday
1 WEEK MASTER
7th DAY !!!

# STEP 2 出力について

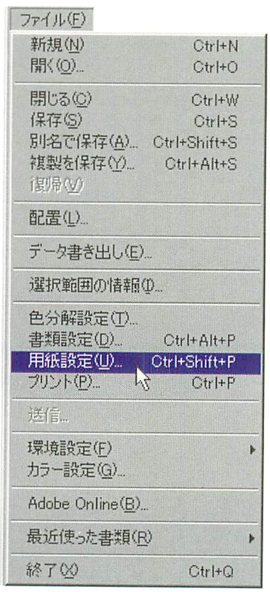
実際に作ったものをきちんとプリントする方法を練習します。ここでは紙に印刷する方法のほかに、ホームページにのせる画像を作る方法も紹介します。

## プリンタについて

Illustratorはポストスクリプト対応プリンタでプリントすることを前提にしています。ポストスクリプトに対応していないプリンタだと、ラインなどがきれいにでませんのでお勧めしません。

## プリントの手順

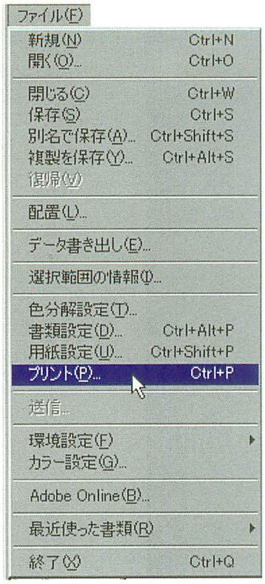
プリントの基本的な手順を図で紹介します。




**1** 「ファイル」メニューの「用紙設定」を選んでください。ここでは用紙の設定の他に、プリントの選択ができます。




**2** 「プリンタ」の「名前」には、インストールされているプリンタドライバが表示されます。プリントするプリンタを選んでください。ここではレーザープリンタを選択しています。「用紙」「印刷の向き」で用紙サイズや紙の向きなどの設定を行います。さらに細かい設定は「プロパティ」で行います。

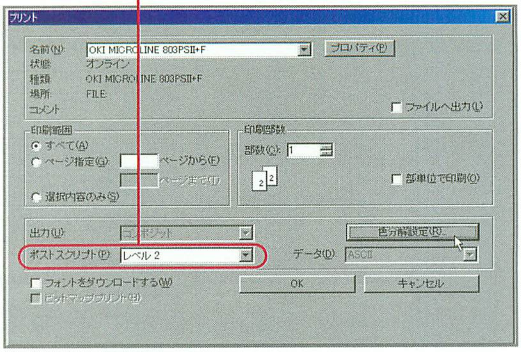



**3** 用紙の設定が済んだら、「ファイル」メニューの「プリント」を選んでください。ショートカットはCtrlキー＋P（printのP）です。

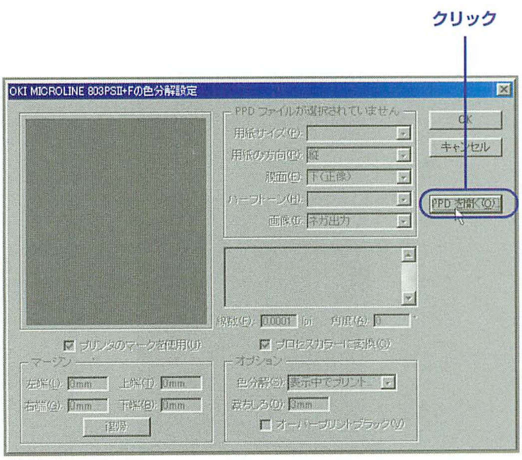
### ☞ヒント!!

**ポストスクリプトレベル3に対応**

また、Illustrator8.0はポストスクリプトレベル3に対応していますので、プリンタがレベル3対応なら、合わせておいてください。




**4** 「印刷部数」を指定します。通常はそれで「プリント」ボタンを押せば印刷開始になりますが、ここでは分版の方法を紹介しておきます。「色分解設定」ボタンをクリックしてください。

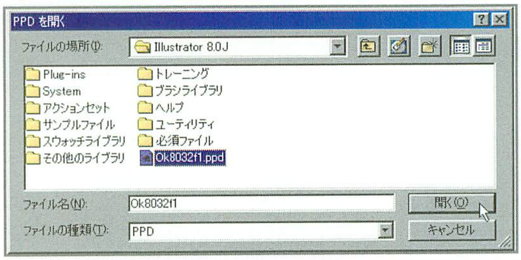



**5** この画面で出力する版の指定などを行いますが、PPDが正しく選択されていないと、設定ができません。まず、「PPDを開く」ボタンをクリックします。

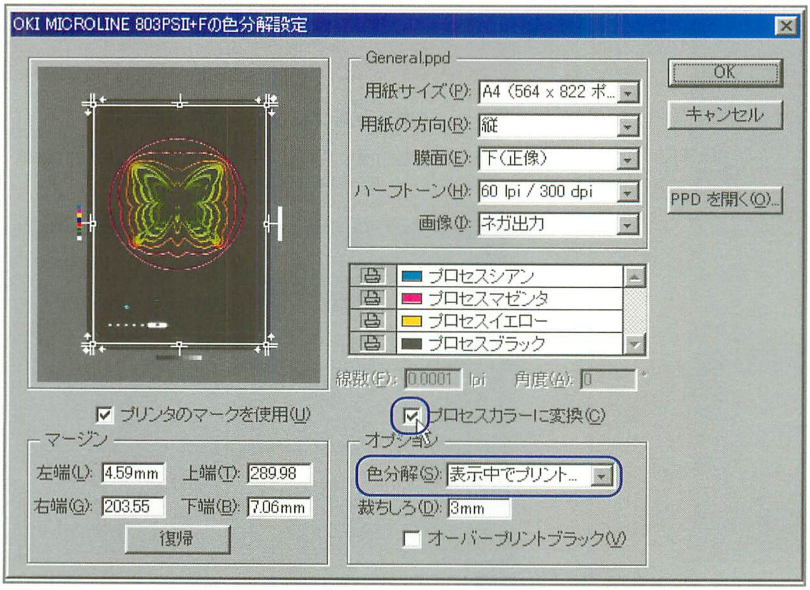
### ☞ヒント!!

**PPDファイルが見つからないときは**

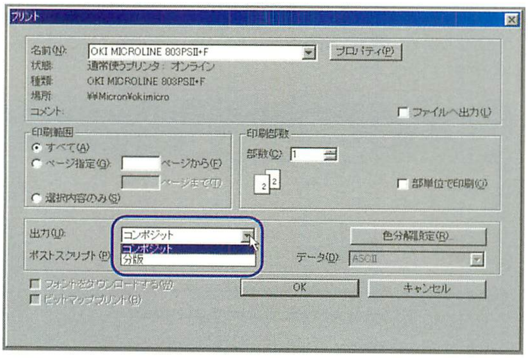
PPDファイルはイラストレータのアプリケーションCD-ROMの中に収録されています。CD-ROMの中の「AdobePostScript」→「Win95_98」→「Win_PPDs」の順番に開いてください。プリンタメーカーごとにフォルダがありますので、その中から使用しているプリンタの機種に合うファイルをハードディスクにコピーして使用してください。



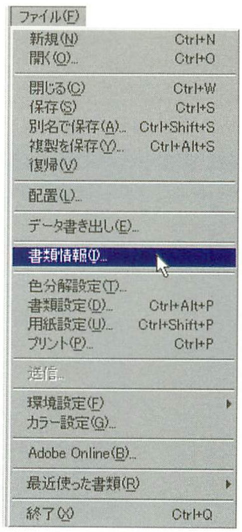

**6** 自分が使っているプリンタのファイルを探して、「開く」ボタンをクリックしてください。




**7** これで設定ができるようになったはずです。スポットカラー（特色）がある場合は、それを4色分解するかどうかも指定をします。4色分解する場合は、「プロセスカラーに変換」にチェックを入れてください。チェックを入れないと、スポットカラーは別版として出力されます。設定が済んだら「OK」ボタンをクリックします。最初は図のように「ポジ出力」（反転）なので、ポジ出力にしてください。




**8** ひとつ前の画面に戻ります。「出力」は分版するなら「分版」を、普通に仕上がり状態をそのまま1枚にプリントするなら「コンポジット」を選びます。



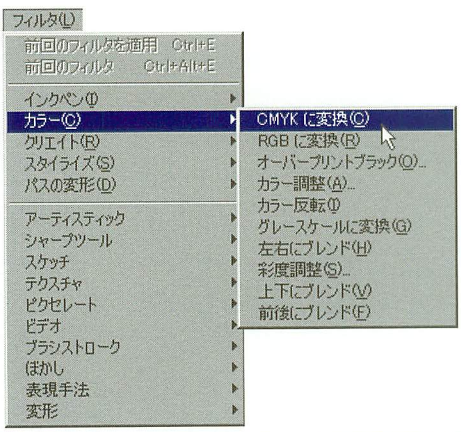

**9** プリントする書類上に特色があるかどうかがわからない場合に便利な機能を紹介します。「ファイル」メニューの「書類情報」を選びます。




10「情報」を「スポットカラーオブジェクト」にします(Illustratorでは特色をスポットカラーと呼んでいます)。



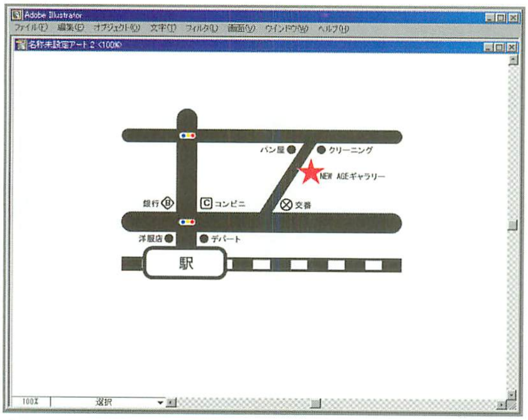

11 特色としてどんな色が使われているのかが表示されます。ここでは確認するだけで、変更などはできません。



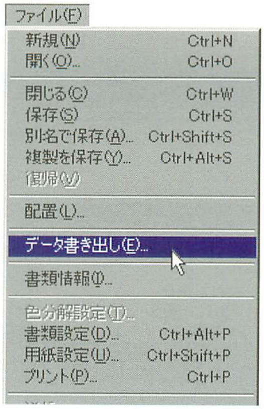

12 特色をCMYKのプロセスカラーに変換するには、オブジェクトを選択、または「全てを選択」でファイル上のオブジェクトを全部選んで、「フィルタ」メニューの「カラー」の「CMYKに変換」を選びます。

## ホームページのデータにする

Illustratorで作ったものを、ホームページ用のデータにする方法を紹介します。

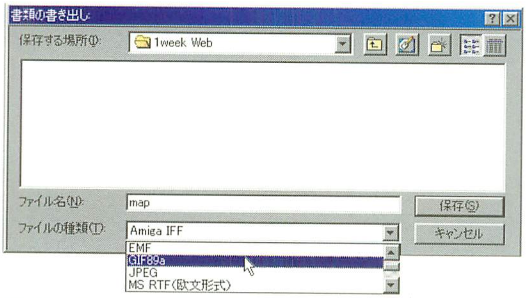


**1** 「ファイル」メニューの「新規」で新しい紙を出し、ホームページにのせるオブジェクトをそこへ持っていきます。位置はどこでもかまいません。

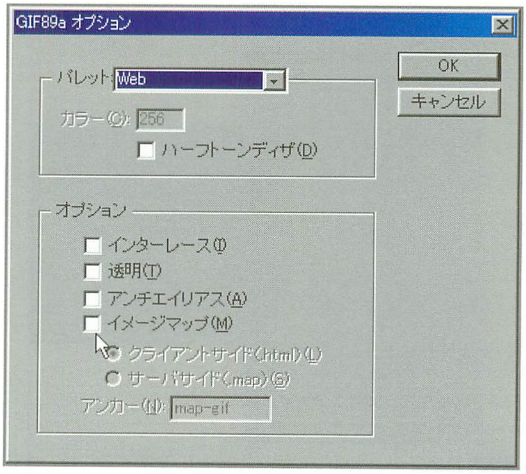


**2** 「ファイル」メニューの「データ書き出し」を選択します。

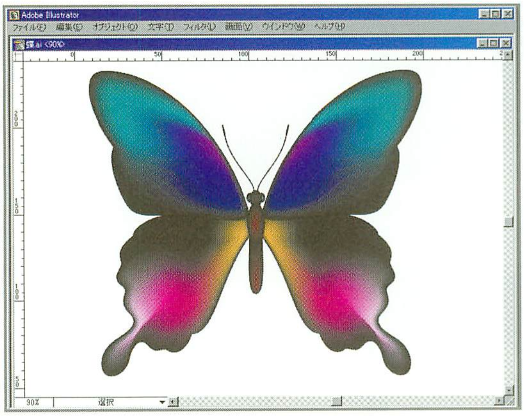
> **ヒント!!**
>
> **ホームページの色数**
>
> ホームページ用のデータでは色数をいかに落として、データ容量を下げるかといったことに気を使います。色のこともとても重要ですので、ホームページ関連のマニュアルなどで確認してください。



**3** 保存場所と保存名を指定します。「ファイル形式」は「GIF89a」にします。



**4** GIF89aのオプション設定の画面が出てきます。「パレット」は「Web」を指定します。「Web」はホームページなどで使用されているMac、Win共通の216色にするためのものです。

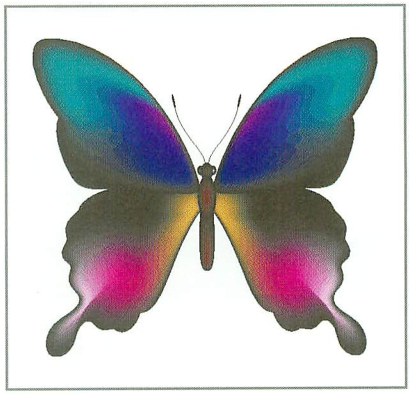



**5** グラデーションメッシュで作った蝶もWeb用に書き出してみましょう。このように階調の豊富な画像の場合は、JPEG形式で保存しましょう。

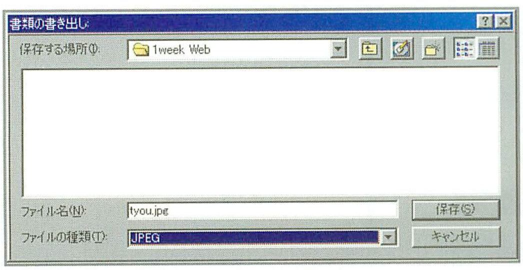
**☞ヒント!!**

**ホームページのファイル形式**

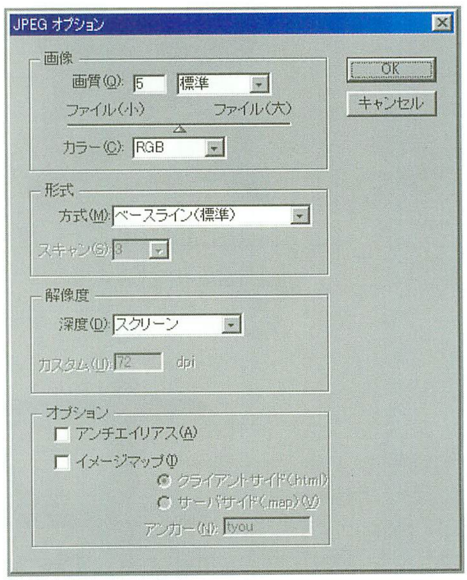
ホームページにはJPEG形式も対応していますが、これは写真や階調の豊富なイラストの画像データに適した形式です。ホームページ用の詳しいファイル形式に関しては、ホームページのマニュアルなどを参考にしてください。



▲JPEGでなくGIFで書き出すと、このように階調が失われてしまいます。




**6** 保存の画面で、ファイル形式は「JPEG」を指定します。

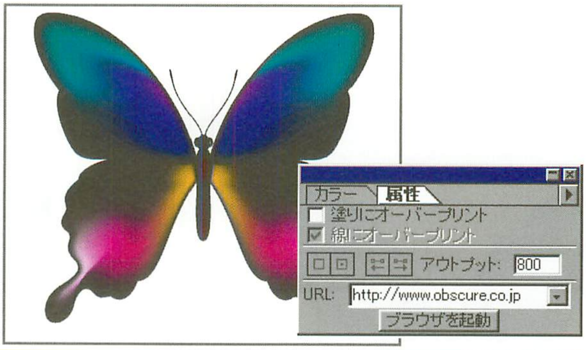



**7** 「JPEGオプション」ダイアログボックスで、画質などを設定します。

**☞ヒント!!**

### 画像にURLを設定する

GIFやJPEGに書き出すときに、ボタンにリンク先を指定しておくことも可能です。複数のオブジェクトに対しても指定できます。ボタンにしたいオブジェクトを選択して、属性パレットの「URL」にリンク先のURLを入力します。属性パレットが表示されていないときは、「ウインドウ」メニューの「属性を表示」を選択して表示させます。







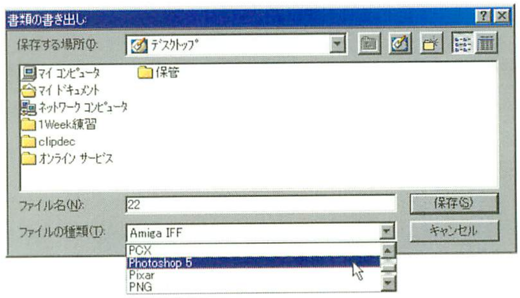
**8** Illustratorで作成したWeb用のデータを使って、ホームページを作成しました。Adobe PageMillなどのホームページ作成用ソフトを利用し、ホームページを作成してみてもおもしろいですよ。

## 他のソフトに持っていく場合

他のソフトとの連携プレーは欠かせません。他のソフトとデータをやり取りするときは、ファイル形式を変換することが必要になってきます。ここでは主要なソフトとやり取りするためのファイル形式の変換方法を紹介します。




**1** PDFやEPS形式にする場合は、「ファイル」メニューの「保存」のダイアログボックスで「ファイルの種類」を切り替えます。レイアウトソフトに持っていく場合は、「Illustrator EPS」にします。




**2** Photoshopに持っていくときは、やはり保存のダイアログボックスで「ファイルの種類」を「Illustrator」にすればいいのですが、Illustratorで作成したレイヤーをそのままPhotoshopのレイヤーに振り分けて作業を続けたいときには、「ファイル」メニューの「データ書き出し」のダイアログボックスで、「ファイルの種類」に「Photoshop5」を選んでください。

### ☞新機能!!

**Photoshopにレイヤーを持っていく**

PhotoshopにIllustratorのレイヤー情報をそのまま持っていくことは、念願の機能のひとつでした。これで、2つのソフトを組み合わせて使うことが一層楽になりました。「ファイルの種類」のでは「Photoshop5」となっていますが、Photoshopのバージョンが4.0などであってもちゃんと開きますから安心してください。




▲Illustratorのデータ。




▲Photoshop5.0に持っていっても、レイヤーの情報が保持されます。

## ちょっとコラム Illustratorの神わざを見に

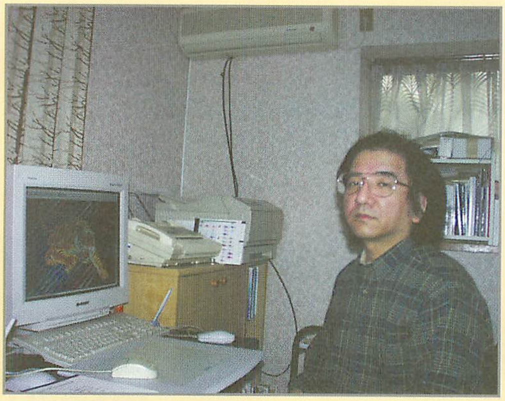
みなさん、Illustratorは気に入っていただけましたか？　本格的に始めようと思ったら、とにかく練習あるのみです。本書に紹介した練習を繰り返していくうちに、きっと自分なりのやり方が見つかると思いますよ。そんなみなさんに、Illustratorの達人、牽牛さんをご紹介しましょう。牽牛さんは昔からIllustratorを使って、新しい表現にチャレンジしているイラストレーターさんです。3Dソフトなども得意だということですが、3Dをやるにしても、やっぱり基本はIllustratorのペンツールにあり！とおっしゃっていました。

ペンツールは自分の思い通りにラインを描ける魔法のツール。これを使わずしてなんとする、といった勢いで、私たちにいろいろお話してくださいました。

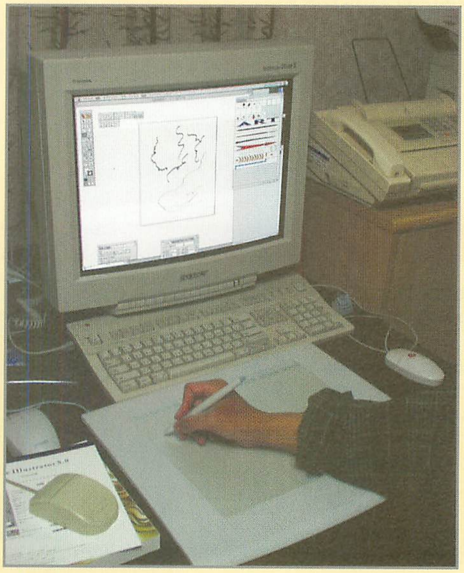
IllustratorやPhotoshopの講習で「ペンツールの使い方がわからない。思い通りのラインが描けない」という人がたくさんいますが、牽牛さんのこのお話を聞かせてあげたいです。きっとペンツールが、無限の可能性を持ったすごいツールに感じられることでしょう。そして、速く使えるようになりたいと思うことでしょう。ペンツールは、ベジェ曲線の仕組みをある程度知っていると理解しやすいです。自分の思い描いた通りのラインを引けるようになるまで、頑張って練習してください。そういった意味でも、プロの方の作品を見るのは勉強になると思います。

**塚崎　健吾 (牽牛)**

平成元年より画材としてCGおよび3DCGを使い始める。静止画・アニメーションを問わず、デジタルでできることを日々、楽しみながら学びつつ、制作するようにしています。CD-ROMのPDFから、私のホームページへも遊びに来てください。NIFTY-ID はGAH00144です。



▲この方が牽牛さん。マシンやプリンタなど、いろいろな機械がいっぱい。



▲見てください。このタブレットで、すいすいとラインを描いていくのです。

古くからコンピュータで絵を描いていた牽牛さんにとって、Illustratorは図形の塗りと線を別々に扱えるという点がすごいとおっしゃいます。「外形のラインをきちっと描き、さらに内部の質感を表現できるソフト」。なんだか、これまで普通に使っていたIllustratorがとてもありがたく感じられてきます。

実は、牽牛さんのアトリエに伺ったとき、コンピュータの前にはWACOMのタブレット（筆圧感知の入力装置）がありました。これで、ベジェの曲線などを自由に描いてらっしゃるのです。特にIllustrator8.0では、ラインに筆圧情報を持たせることができるので、タブレットが威力を発揮するそうです。興味のある方はぜひ試してみてください。タブレットは、あまり大きすぎると手や肩が疲れるので、自分の身体に合うサイズをチョイスするのがポイント。新機能のブラシツールも満喫できるでしょう。もちろんベジェ曲線も描きやすいはずです。

Illustratorの魅力は？　と質問すると、こんな答えが返ってきました。「Illustratorは拡大・縮小が自由に行えるし、色も簡単に変更することができる。つまり自分でいろんなことを調整しながら描けるところがいいですよ。しかも出力したラインが美しい」。なるほど。当たり前だけど、何か深ーいものを感じます。

現在、劇画のような勢いのある、しかもシャープできれいなラインがIllustratorで描けないものかと、タブレットを使って作品作りに励んでいるとのこと。作品は、ご自身のホームページ（http://www.bekkoame.ne.jp/~kengyu/）で見ることができるそうです。ぜひご覧ください。きっと、Illustratorがすごい可能性を秘めた魔法のソフトだってことに、みなさんも気がつくと思いますよ。







▲牽牛さんの作品です。CD-ROMにPDFファイルで収録していますから、画面に表示してみてみてください（このPDFファイルにはパスワード・ロックをかけてあります。開くためにはパスワードを半角大文字で「OPEN」と入力しなければなりません）。非常に細かい作業で、表現されています。みなさんも、いつかはこんな作品が作れるといいですね。

# Shortcut

## ■ファイルメニュー

| | |
|---|---|
| 新規 | Ctrlキー＋N |
| 開く | Ctrlキー＋O |
| 閉じる | Ctrlキー＋W |
| 保存 | Ctrlキー＋S |
| 別名で保存 | Ctrl＋Shiftキー＋S |
| 複製を保存 | Ctrl＋Altキー＋S |
| 書類設定 | Ctrl＋Altキー＋P |
| 用紙設定 | Ctrl＋Shiftキー＋P |
| プリント | Ctrlキー＋P |
| 終了 | Ctrlキー＋Q |

## ■編集メニュー

| | |
|---|---|
| 取り消し | Ctrlキー＋Z |
| やり直し | Ctrl＋Shiftキー＋Z |
| カット | Ctrlキー＋X |
| コピー | Ctrlキー＋C |
| ペースト | Ctrlキー＋V |
| 前面へペースト | Ctrlキー＋F |
| 背面へペースト | Ctrlキー＋B |
| 全てを選択 | Ctrlキー＋A |
| 選択解除 | Ctrl＋Shiftキー＋A |

## ■文字メニュー

| | |
|---|---|
| 文字設定 | Ctrlキー＋T |
| 段落設定 | Ctrlキー＋M |
| タブルーラー | Ctrl＋Shiftキー＋T |
| アウトライン作成 | Ctrl＋Shiftキー＋O |

## ■オブジェクトメニュー

| | |
|---|---|
| グループ | Ctrlキー＋G |
| グループ解除 | Ctrl＋Shiftキー＋G |
| ロック | Ctrlキー＋2 |
| すべてをロック解除 | Ctrl＋Altキー＋2 |
| 選択範囲を隠す | Ctrlキー＋3 |
| すべてを表示 | Alt＋Ctrlキー＋3 |

**変形**

| | |
|---|---|
| 変形の繰り返し | Ctrlキー＋D |

**アレンジ**

| | |
|---|---|
| 最前面へ | Ctrl＋Shiftキー＋] |
| 前面へ | Ctrlキー＋] |
| 背面へ | Ctrlキー＋[ |
| 最背面へ | Ctrl＋Shiftキー＋[ |

**パス**

| | |
|---|---|
| 連結 | Ctrlキー＋J |
| 平均 | Ctrl＋Altキー＋J |

**ブレンド**

| | |
|---|---|
| 作成 | Ctrl＋Altキー＋B |
| 解除 | Ctrl＋Alt＋Shiftキー＋B |

**マスク**

| | |
|---|---|
| 作成 | Ctrlキー＋7 |
| 解除 | Ctrl＋Altキー＋7 |

**複合パス**

| | |
|---|---|
| 作成 | Ctrlキー＋8 |
| 解除 | Ctrl＋Altキー＋8 |

## ■フィルタメニュー

| | |
|---|---|
| 前回のフィルタを適用 | Ctrlキー＋E |
| 前回のフィルタ | Ctrl＋Altキー＋E |

## ■画面メニュー

| | |
|---|---|
| アートワーク | Ctrlキー＋Y |
| 選択範囲のプレビュー | Ctrl＋Shiftキー＋Y |
| ズームイン | Ctrlキー＋＋ |
| ズームアウト | Ctrlキー＋− |
| 実寸表示 | Ctrlキー＋1 |
| 全体表示 | Ctrlキー＋0 |
| 境界線を隠す | Ctrlキー＋H |
| テンプレートを隠す | Ctrl＋Shiftキー＋W |
| 定規の表示 | Ctrlキー＋R |
| ガイドを隠す | Ctrlキー＋9 |
| ガイドをロック | Ctrl＋Altキー＋9 |

ガイドを作成 ……………………………………Ctrlキー＋5
ガイドを解除………………………………Ctrl＋Altキー＋5
グリッドを表示 …………………………………Ctrlキー＋¥
グリッドにスナップ……………………Ctrl＋Shiftキー＋¥
ポイントにスナップ……………………Ctrl＋Altキー＋¥
スマートガイド …………………………………Ctrlキー＋U

## ■選択と移動ツール

選択ツールへ切り替え ………………………………Ctrlキー
選択ツールとダイレクト選択ツールの切り替え
……………………………………………………Ctrl＋Tabキー
選択追加／削除………………………Shiftキー＋クリック
ダイレクト選択ツールとグループ選択ツールの切り替え
……………………………………………………………Altキー
オブジェクトの移動 ………………………四つの矢印キー

## ■ペイントと変形ツール

スポイトツールと塗りつぶしツールの切り替え
……………………………………………………………Altキー
グラデーションの中間カラーをサンプル
……………………………………Shiftキー＋スポイトツール
原点を設定してダイアログボックスを表示
………………………………回転ツール/拡大・縮小ツール/
リフレクトツール/シアーツール＋クリック＋Altキー
選択範囲のコピーを変形
………………………………選択ツール/拡大・縮小ツール/
リフレクトツール/シアーツール＋ドラッグ＋Altキー
オブジェクトは変形せずにパターンのみを変形
…………回転ツール/拡大・縮小ツール/リフレクトツール/
シアーツール＋～＋ドラッグ
選択範囲を回転 ………………自由変形ツール＋クリック＋
バウンディングボックスの外側をドラッグ
選択範囲をゆがめる（マウスボタンを押した後のみ有効）
…………………………………自由変形ツール＋Ctrlキー＋
ハンドルをドラッグ（自由変形ツール＋Alt＋Ctrlキー＋
ハンドルをドラッグして中心からゆがめる）
遠近法効果を変更（マウスボタンを押した後のみ有効）
…………………自由変形ツール＋Ctrl＋Alt＋Shiftキー＋
コーナーハンドルをドラッグ

選択範囲の縦横比を固定してサイズ変更
…………………自由変形ツール/選択ツール＋Shiftキー＋
バウンディングボックスのハンドルをドラッグ
選択範囲の中心からサイズ変更
……………………自由変形ツール/選択ツール＋Altキー＋
バウンディングボックスのハンドルをドラッグ

## ■形状

中心点を設定してダイアログボックスを表示
………………………………………………形状ツール＋クリック
縦横比を維持
………………………楕円形ツール＋Shiftキー＋ドラッグ
………………………長方形ツール＋Shiftキー＋ドラッグ
…………………角丸長方形ツール＋Shiftキー＋ドラッグ
ドラッグの方向を制限
………………………多角形ツール＋Shiftキー＋ドラッグ
………………………スターツール＋Shiftキー＋ドラッグ
…………………スパイラルツール＋Shiftキー＋ドラッグ
オブジェクトの作成中に移動
……楕円形ツール＋ドラッグしながらスペースバーを押す
……多角形ツール＋ドラッグしながらスペースバーを押す
……長方形ツール＋ドラッグしながらスペースバーを押す
角丸長方形ツール＋ドラッグしながらスペースバーを押す
……スターツール＋ドラッグしながらスペースバーを押す
スパイラルツール＋ドラッグしながらスペースバーを押す
半径を最小値に変更 …………………角丸長方形ツール＋←
半径を最大値に変更 …………………角丸長方形ツール＋→
内角の半径を維持 ……スターツール＋Ctrlキー＋ドラッグ
追加/削除
多角形の辺の数…………………………多角形ツール＋↑/↓
角丸の半径………………………角丸長方形ツール＋↑/↓
星のポイント数…………………………スターツール＋↑/↓
渦巻きの数………………………スパイラルツール＋↑/↓
渦巻きを長くしながら渦巻きの数を追加/削除
……………………スパイラルツール＋Altキー＋ドラッグ
「円周に近づく比率」を変更
……………………スパイラルツール＋Ctrlキー＋ドラッグ
中心から作成
楕円形 …………………楕円形ツール＋Altキー＋ドラッグ

多角形 …………………多角形ツール＋Altキー＋ドラッグ
長方形 …………………長方形ツール＋Altキー＋ドラッグ
角丸長方形 ………角丸長方形ツール＋Altキー＋ドラッグ
（Shift＋Altキー＋ドラッグで円、正多角形、正方形、角丸正方形を中心から描画）

## ■パスの修正ツール

方向点の切り替え ……………………………………Altキー

## ■表示ツール

全体表示 …………………てのひらツールをダブルクリック
100％表示…………………ズームツールをダブルクリック
手のひらツール ……………………………………スペースバー
画面表示を拡大 ……………………スペースバー＋Ctrlキー
画面表示を縮小 ……………………ズームツール＋Altキー、
またはスペースバー＋Ctrl＋Altキー
ズーム範囲の位置を調整
……………………………………ズームツールをドラッグ+スペースバーを押しながらドラッグ
ズームボックスをハイライトしたままズーム倍率を適用
……………………ナビゲータパレットでShift＋Enterキー
未選択のアートワークを隠す
……………………………………Ctrl＋Alt＋Shiftキー＋3
アートワークの表示位置を変更
…………ナビゲータパレットでビューボックスをドラッグ
アートワークの特定の部分をズームイン
…………………ナビゲータパレットでCtrlキー＋ドラッグ
垂直ガイドと水平ガイドを切り換え
……………………………………Altキー＋ガイドをドラッグ
ガイドを解除
…………………Ctrl＋Shiftキー＋ガイドをダブルクリック

## ■文字ツール

行揃え―左/上揃え ……………………Ctrl＋Shiftキー＋L
行揃え―中央揃え ………………………Ctrl＋Shiftキー＋C
行揃え―右/下揃え ……………………Ctrl＋Shiftキー＋R
行揃え―両端揃え ………………………Ctrl＋Shiftキー＋J
強制改行……………………………………Shift＋Enterキー
カーニングをハイライト…………………Ctrl＋Altキー＋K
「水平比率」を100％に戻す …………Ctrl＋Shiftキー＋X
トラッキング/カーニングを0に戻す
……………………………………………Ctrl＋Shiftキー＋Q
ポイントサイズを増加…………………Ctrl＋Shiftキー＋>
ポイントサイズを減少 …………………Ctrl＋Shiftキー＋<
行送りを増加………………………………………Altキー＋↑
行送りを減少………………………………………Altキー＋↓
行送りをフォントサイズに設定
……文字設定パレットで行送りアイコンをダブルクリック
カーニング/トラッキングを増加 ………………Altキー＋→
カーニング/トラッキングを減少 ………………Altキー＋←
ベースライン移動を増加 ………………Alt＋Shiftキー＋↑
ベースライン移動を減少 ………………Alt＋Shiftキー＋↓
欧文単語を選択 …………………欧文単語をダブルクリック
段落を選択 …………………………単語をトリプルクリック
ポインタの位置を左の単語に移動 ……………Ctrlキー＋←
ポインタの位置を右の単語に移動 ……………Ctrlキー＋→
ポインタの位置を上の段落に移動 ……………Ctrlキー＋↑
ポインタの位置を下の段落に移動 ……………Ctrlキー＋↓
文字ツールと文字（縦）ツール、エリア内文字ツールとエリア内文字（縦）ツール、パス上文字ツールとパス上文字（縦）ツールを切り換え ……………………………Shiftキー
エリア内文字ツールと文字ツール、パス上文字ツールとエリア内文字ツール、パス上文字（縦）ツールとエリア内文字（縦）ツールを切り換え
…………………………Altキー+テキストツールをクリック
カーニング／トラッキングで間隔を狭くする
………………………………………………Shift+Ctrlキー＋[
カーニング／トラッキングで間隔を広げる
………………………………………………Shift+Ctrlキー＋]

# INDEX

## ■た



## ■な



## ■は

●著者プロフィール ……………………………………
吉岡ゆかり（よしおかゆかり）
1989年よりMacintoshのグラフィックソフトを中心に、講師、著作、制作を行う。
東京女学館小学校非常勤講師、企業向けトレーニング講師。「MacFan」「MacFanBiginners」誌、「DTP WORLD」誌、「Mac WORLD」誌、「日経デザイン」誌への寄稿及び連載。著書に「一週間でマスターする Adobe Illustrator」（毎日コミュニケーションズ）、「Photoshopテクスチャバイブル（日本語／韓国語版）」（スパイク）他。現（株）ニュー・エイジ代表。

# 一週間でマスターする　Adobe Illustrator8.0 for Windows


1999年1月27日　　初版第1刷発行

著　者　　吉岡ゆかり
製作協力　山崎理（image dive）、DigitalVision
発行者　　佐々山泰弘
発行所　　（株）毎日コミュニケーションズ
〒102-0074　東京都千代田区九段南1-5-13　共同ビル2号館
TEL　03-3211-2568（販売業務）
03-3230-3821（編集）



編集・DTP　（株）マップス＋（有）オブスキュアインク
カバーデザイン　カインズアート・アソシエイツ
表紙イラスト　新矢千里

印刷・製本　図書印刷株式会社
ISBN 4-8399-0167-8　C3055
定価はカバーに記載してあります。
落丁・乱丁本はお取り替えいたします。